

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このこのアート白川		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2026年1月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2026年1月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とスタッフ間の情報連携	連絡帳でその日の活動の伝達、写真の貼付、送迎時に保護者にその日の出来事や気になる点について共有している。	公式ラインの発足等を通して、更に情報連携のとりやすい形を進めていく。
2	スタッフ間の情報連携	毎日出勤スタッフ間で児童についての情報をノートにて共有し、アルバイト・スタッフ問わず公開して確認している。また、懸念点や改善できる点などはすぐにライン等で共有し、改善に向けてPDCAをまわしている。	過去のヒヤリハット事例の共有や危険予知に関する研修等をおこなっていく。
3	SNS等での情報発信・作品公開	イベント時の動画をYOUTUBEにて保護者限定で公開、地域ギャラリーでの子どもたちの作品の展覧会の開催をおこない、広く普段の様子を共有している。	イベント時以外の動画の限定公開や、公募展の応募数を増やすなどして今後も充実させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理体制の可視化	避難訓練をおこなっている様子が広く保護者に公開されていない。作成された安全計画が周知されていない。	年度初めに保護者向けに安全計画の公表をおこなう。避難訓練や安全に向けての取組や研修の様子を発信する。
2	各種マニュアルの整理・共有	各種マニュアルが繰り返し確認できる状況が周知されていない。	各種マニュアルの整理、保管場所、更新、周知を徹底する。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けられていない	そもそもニーズが把握できていない。職員の出勤状況や送迎事情から日程の調整が困難。	ニーズに応じて保護者会の開催をおこない、情報交換の場を設ける。また、地域の放ディ施設と連携して展覧会をおこなうなどして他児童との交流の機会を設けていく。